

記入日：令和 2 年 5 月 13 日

1. 事業所名（事業名）

社会福祉法人 加島友愛会 Link

2. 主な対象者（知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害等）

知的障害 発達障害

3. 週間スケジュール ※時間・内容を自由に記載ください

曜日 時間	内容				
	月	火	水	木	金
10:00 ～ 12:30	*電話確認(午前) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午前) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午前) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午前) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午前) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)
昼食					
13:15 ～ 15:00	*電話確認(午後) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午後) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午後) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午後) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)	*電話確認(午後) *設定課題(認知強化 トレーニング、PC入 力、自由課題など)

4. 支援内容

1) 訓練の内容 ※訓練で使用している具体的な内容をご紹介します

ツール	内容（課題の内容・使い方）	時間	結果
電話確認(午前)	体温・体調・起床時間等、生活リズムの確認。本日の課題の予定確認。(生活面での課題がある方が対象)	15分	本人のみの聞き取りでは把握が難しい場合も多く、家族へも確認が必要。
電話確認(午後)	課題の進捗状況・質問等。明日の作業や課題の確認。	15分	課題の理解度や質問や報告のやり取りが電話では難しく、状況によっては通所を促したり、自宅へ訪問したりした。
日報	体調の確認、課題内容、電話連絡での内容	適宜	郵送等でやり取りし、自己課題の内容を確認したり、記入できているかを確認し、フィードバックができた。
認知機能トレーニング	空間認知や文字・数理解などの問題集。本人に適した難易度でプリントを配布。	60分	難易度を3段階に分けて設定。本人の特性を知るツールとしても活用できた。
危険予知トシ	絵図を用いて危険予知力を高める問題集。	30分	問題の意図を理解することが難

ーニング			しい利用者も多かった。
社会面での認知トレーニング	様々なコミュニケーション場面が絵で示されており、相手の感情を想像する問題集。	30分	問題の意図を理解する利用者も多かったが、本人の特性を知るツールとして活用できた。フィードバックが電話では難しかった。
自己課題	家事の手伝いやパズルや運動、散歩など家族と相談して課題を設定してもらう。	適宜	家庭環境や趣味によって偏りがある。
PC入力	ワード・エクセルなど、検定教材を活用。メールで課題を送付し、成果物を返送してもらい、電話でフィードバックをする。	90分	PC等の機器環境と理解度がある利用者が対象。PDF等を活用したり写真を添付してもらうなど、実用的なトレーニングができた。

2) フォローアップの方法

①訓練課題

- ・ 毎日連絡を取り進捗状況と予定を確認している。(職員は通常通り出勤)
- ・ 課題の追加は郵送で対応。できた課題については返送してもらい、スタッフが確認をして、間違っているところは訂正をしてやり直してもらっている。
- ・ PCが活用できる利用者にはメールで課題をやり取りしている。フィードバックは電話で行う。

②就職活動支援

- ・ 企業やHWと連絡を取り、求人状況を確認している。
- ・ 企業実習などの提案は電話連絡で行い、必要に応じて通所にて調整。

③生活支援

- ・ 毎日、検温や家族を含めた体調確認を行っている。
- ・ GHで生活をしている利用者へは担当者で連絡を取り、他入居者の体調や支援体制も確認している。
- ・ 電話でのやり取りや応対が難しく、長期間の在宅支援になる利用者については自宅へ訪問し、生活状態や課題について確認をしている。

④その他

- ・ サービス提供時間以外での相談を受け付けることができるよう、職場専用の携帯電話の番号を周知し、緊急時の体制を整えている。
- ・ 一斉の在宅利用を促すのではなく、通所と併用しての在宅利用で対応している。

5. その他

1) 参考資料

- 『やさしいコグトレ 認知機能強化トレーニング』(三輪書店)
- 『社会面のコグトレ 認知ソーシャルトレーニング』(三輪書店)
- 『コグトレ 認知機能強化トレーニング』(三輪書店)
- 『SSTワークシート 社会的行動編』(かもがわ出版)
- 『SSTワークシート 自己認知・コミュニケーションスキル編』(かもがわ出版)

2) 課題

メールやビデオ通話などの機能を活用できる利用者も少なく、日頃から実用的に触れる機会を設定しておく必要性を感じた。一方で、文字や言葉の理解が難しい利用者も多く、対面支援の重要性も改めて感じた。

記入者： 玉城由美子